

平成20年3月期 第3四半期連結決算概要

1. 業績概要

注: 億円未満切捨て  
(単位:億円)

項目	前年第3四半期 (H18. 4~H18. 12)	当第3四半期 (H19. 4~H19. 12)	増減
売上高	4,801	5,143	342
営業利益	314	(409)	386
金融収支	△47	△44	2
持分法投資損益	15	9	△5
その他営業外損益	12	△18	△31
経常利益	295	(356)	333
特別損益	△50	△39	11
四半期純利益	151	(182)	168

項目	前年第3四半期 (H18. 4~H18. 12)	当第3四半期 (H19. 4~H19. 12)	増減
為替レート(円/\$)	116.2	117.3	1.1円安
ナフサ価格(円/KL)	50,200	*1 59,800	9,600
豪州炭価格(円/t)*2	8,599	12,725	4,126

\*1 見込値、\*2 CIF価格

1株当たり四半期純利益	15円08銭	16円72銭	1円64銭
-------------	--------	--------	-------

(注) ( )内は減価償却制度変更の影響を除外した場合

2. セグメント別 売上高・営業利益

(単位:億円)

項目	セグメント	前年第3四半期 (H18. 4~H18. 12)	当第3四半期 (H19. 4~H19. 12)	増減
売上高	化成品・樹脂	1,533	1,704	171
	機能品・ファイン	649	690	41
	建設資材	1,559	1,551	△7
	機械・金属成形	814	854	39
	エネルギー・環境	215	312	97
	その他	29	29	0
	合計	4,801	5,143	342
営業利益	化成品・樹脂	82	(126)	118
	機能品・ファイン	81	(98)	95
	建設資材	84	(92)	83
	機械・金属成形	41	(49)	47
	エネルギー・環境	18	(36)	35
	その他	6	(6)	6
	合計	314	(409)	386

カ<sup>o</sup>ロ<sup>o</sup>カタム/硫安/ナロン/工業薬品 販売価格上昇、為替換算影響  
医薬品原体・中間体/電池材料/ガス分離膜 販売数量増  
生コ出荷減  
産機売上増、製鋼品販売価格上昇  
石炭数量増、販売価格上昇

カ<sup>o</sup>ロ<sup>o</sup>カタム ス<sup>o</sup>レ<sup>o</sup>ト<sup>o</sup> (製品と原料の値差)拡大、硫安価格上昇  
医薬品原体・中間体/電池材料 販売数量増  
産機売上増、アルミホイルコスト減  
石炭数量増

(注) ( )内は減価償却制度変更の影響を除外した場合

3. 財政状態

(単位:億円)

項目	前期末 (H19. 3末)	当第3四半期 (H19. 12末)	増減
総資産	7,148	7,332	183
有利子負債 (純有利子負債)	3,200 (2,987)	3,216 (2,939)	16 △47
純資産	1,951	2,105	153

現・預金、たな卸資産増  
社債発行、借入金返済  
利益剰余金、為替換算調整勘定増

【参考】業績予想

平成19年11月2日に発表した平成20年3月期(通期)業績予想に変更はありません。

(単位:億円)

項目	平19年3月期 (通期)	平20年3月期 (通期)	増減
売上高	6,556	7,010	454
営業利益	468	(543)	510
経常利益	431	(463)	430
当期純利益	220	(240)	220

(注) ( )内は減価償却制度変更の影響を除外した場合



## 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 7 日

上場会社名 宇部興産株式会社 上場取引所 東証一部・福証  
 コード番号 4208 URL <http://www.ube.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 浩章  
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 坂本 靖子 TEL (03)5419-6110

(百万円未満四捨五入)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	514,383	7.1	38,621	22.7	33,326	12.8	16,827	10.9
19年3月期第3四半期	480,174	10.8	31,480	2.8	29,532	14.0	15,178	18.8
19年3月期	655,608	—	46,862	—	43,154	—	22,013	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	16	72	16	04
19年3月期第3四半期	15	08	14	48
19年3月期	21	88	21	04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	733,212	210,584	25.5	185 68
19年3月期第3四半期	721,445	185,075	22.7	162 38
19年3月期	714,871	195,196	24.1	171 49

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

平成 19 年 11 月 2 日に発表した業績予想数値に変更はありません。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	701,000	6.9	51,000	8.8	43,000	△0.4	22,000	△0.1	21	86

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。〕

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料及び添付資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需要、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の事業環境は、サブプライムローン問題の影響や、ナフサ、燃料油、石炭など原燃料市況の一段の高騰、改正建築基準法施行の影響による建設資材製品の需要減少等のマイナス影響を受けましたが、中国などアジアの景気好調等に支えられ、化成品・樹脂製品の市況が上昇するなど、総じて堅調に推移しました。

このような状況下、当社の業績は前年同四半期に比べ増収で、利益についても営業、経常、四半期純利益ともに増益となりました。

売上高は、原燃料高に対する価格是正が進展し、また円安のため海外取引高が増加した化成品・樹脂セグメントでの増収、及び石炭売上高が増加したエネルギー・環境セグメントでの増収などにより、前年同四半期比342億円(7.1%)増加し5,143億円となりました。営業利益は、化成品・樹脂セグメントにおける主要製品の販売価格是正や、機能品・ファイン、エネルギー・環境の両セグメントにおける数量要因により、前年同四半期比71億円(22.7%)増の386億円となりました。経常利益につきましては、在外子会社の為替差益の減少などにより、営業利益に比べ増益幅が減少し、前年同四半期比37億円(12.8%)増の333億円となりました。四半期純利益につきましては、前年同四半期比16億円(10.9%)増の168億円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

#### ① 化成品・樹脂

売上高は、カプロラクタム、バイオエタノール用作物向けに需要が急増している硫安(カプロラクタム副産品)、ナイロン樹脂、工業薬品などの販売価格が上昇したことや、円安の影響で海外取引高が増加したことなどにより、前年同四半期比171億円(11.2%)増の1,704億円となりました。営業利益につきましては、硫安価格上昇、カプロラクタムのスプレッド拡大など、主として価格要因により前年同四半期比36億円(44.0%)増の118億円となりました。

#### ② 機能品・ファイン

売上高は、一昨年秋口以降続いた薄型パネルなどの在庫調整の影響を受け、ポリイミド製品の出荷は低調でしたが、医薬品原体・中間体、リチウムイオン電池用の電解液・セパレーター、ガス分離膜など、他の製品の出荷が伸長したことなどにより、前年同四半期比41億円(6.3%)増の690億円となりました。営業利益につきましては、主として数量要因により、前年同四半期比13億円(16.8%)増の95億円となりました。

#### ③ 建設資材

売上高は、生石灰関連製品の出荷好調等による増収がありましたが、改正建築基準法施行の影響を受けた生コンの出荷減少による減収をカバーしきれず、前年同四半期比7億円(0.5%)減の1,551億円となりました。営業利益につきましては、生コンの販売数量減、燃料コスト上昇等による減益を、セメント製造工程における廃棄物処理の拡大などによる増益でほぼ相殺し、前年同四半期比1億円(2.0%)減の83億円となりました。

#### ④ 機械・金属成形

売上高は、機械部門では、運搬機などの産機製品の出荷が好調であったこと、また、製鋼品においてスクラップ価格上昇に対応した価格転嫁が進んだことなどにより増収となり、一方、アルミホイール部門では、北米事業における販売数量減などにより減収となりました。この結果、セグメント全体では前年同四半期比39億円(4.9%)増の854億円となりました。営業利益につきましては、機械部門は主として増収効果により、アルミホイール部門は北米事業が諸費用削減等により業績が改善したことでそれぞれ増益となり、セグメント全体では前年同四半期比6億円(14.7%)増の47億円となりました。

#### ⑤ エネルギー・環境

売上高は、石炭価格高騰と需給が逼迫するなかで、需要家において前倒し調達の動きが見られ、販売炭、預り炭ともに数量が増加し、また、販売炭価格が上昇したことなどにより、前年同四半期比97億円(45.1%)増の312億円となりました。営業利益につきましては、石炭の取扱い数量増などにより前年同四半期比17億円(94.7%)増の35億円となりました。

⑥ その他

売上高、営業利益とも前年同四半期並みで、それぞれ29億円、6億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は前期末に比べ、たな卸資産が104億円、現金及び預金が63億円増加したこと等により流動資産が218億円増加した一方、有形固定資産の減少等により固定資産が35億円減少した結果、183億円増加し7,332億円となりました。

負債については、支払手形及び買掛金が60億円増加したこと等により、29億円増加し5,226億円となりました。

純資産は、利益剰余金が122億円、為替換算調整勘定が44億円増加したこと等により、153億円増加し2,105億円となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ139百万円減少しております。

（追加情報）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。これにより、営業利益は2,148百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,175百万円減少しております。

要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 (平成19年3月31日現在)		当第3四半期末 (平成19年12月31日現在)		増減 金 額	前第3四半期末 (平成18年12月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
( 資 産 の 部 )		%		%			%
I 流 動 資 産	286,991	40.1	308,856	42.1	21,865	293,525	40.7
現金及び預金	21,694		28,019		6,325	19,358	
受取手形及び売掛金	161,581		166,638		5,057	162,128	
たな卸資産	79,185		89,620		10,435	86,920	
その他	24,531		24,579		48	25,119	
II 固 定 資 産	427,876	59.9	424,282	57.9	△ 3,594	427,914	59.3
有形固定資産	359,886		357,923		△ 1,963	358,520	
無形固定資産	4,050		4,025		△ 25	4,115	
投資その他の資産	63,940		62,334		△ 1,606	65,279	
III 繰 延 資 産	4	0.0	74	0.0	70	6	0.0
資 産 合 計	714,871	100.0	733,212	100.0	18,341	721,445	100.0
( 負 債 の 部 )							
I 流 動 負 債	314,833	44.0	333,098	45.4	18,265	320,524	44.4
支払手形及び買掛金	104,351		110,377		6,026	103,918	
短期借入金	144,658		142,413		△ 2,245	158,817	
一年以内に償還予定の社債	1,750		490		△ 1,260	1,650	
一年以内に償還予定の転換社債	—		19,897		19,897	—	
その他	64,074		59,921		△ 4,153	56,139	
II 固 定 負 債	204,842	28.7	189,530	25.9	△ 15,312	215,846	29.9
社債	970		16,200		15,230	1,190	
転換社債	19,898		—		△ 19,898	19,898	
長期借入金	152,740		142,667		△ 10,073	157,695	
退職給付引当金	7,486		7,250		△ 236	8,597	
その他	23,748		23,413		△ 335	28,466	
負 債 合 計	519,675	72.7	522,628	71.3	2,953	536,370	74.3
( 純 資 産 の 部 )							
I 株 主 資 本	158,062	22.1	170,229	23.2	12,167	151,196	21.0
資本金	58,399	8.2	58,400	8.0	1	58,399	8.1
資本剰余金	28,362	4.0	28,376	3.9	14	28,336	3.9
利益剰余金	71,676	10.0	83,915	11.4	12,239	64,829	9.0
自己株式	△ 375	△0.1	△ 462	△0.1	△ 87	△ 368	△0.0
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	14,531	2.0	16,607	2.3	2,076	12,225	1.7
その他有価証券評価差額金	7,724	1.1	5,458	0.8	△ 2,266	9,095	1.3
繰延ヘッジ損益	△ 97	△0.0	△ 152	△0.0	△ 55	△ 97	△0.0
再評価積立金	332	0.0	307	0.0	△ 25	340	0.0
為替換算調整勘定	6,572	0.9	10,994	1.5	4,422	2,887	0.4
III 新 株 予 約 権	78	0.0	156	0.0	78	—	—
IV 少 数 株 主 持 分	22,525	3.2	23,592	3.2	1,067	21,654	3.0
純 資 産 合 計	195,196	27.3	210,584	28.7	15,388	185,075	25.7
負 債 純 資 産 合 計	714,871	100.0	733,212	100.0	18,341	721,445	100.0

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期	当第3四半期	増減	前期
		(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売 上 高		480,174	514,383	34,209	655,608
売 上 原 価		389,459	414,136	24,677	527,990
売 上 総 利 益		90,715	100,247	9,532	127,618
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		59,235	61,626	2,391	80,756
営 業 利 益		31,480	38,621	7,141	46,862
営 業 外 収 益		9,910	6,978	△ 2,932	13,021
営 業 外 費 用		11,858	12,273	415	16,729
経 常 利 益		29,532	33,326	3,794	43,154
特 別 利 益		2,156	997	△ 1,159	5,957
特 別 損 失		7,181	4,922	△ 2,259	13,108
税金等調整前四半期(当期)純利益		24,507	29,401	4,894	36,003
法 人 税 等		8,478	11,358	2,880	12,596
少 数 株 主 利 益		851	1,216	365	1,394
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益		15,178	16,827	1,649	22,013

事業の種類別セグメント情報

前第3四半期（自平成18年4月1日 至平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	化成品・樹脂	機能品・フイン	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	計	消去又は全社	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	153,379	64,943	155,917	81,424	21,547	2,964	480,174	—	480,174
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,783	1,233	2,705	826	6,679	869	18,095	(18,095)	—
計	159,162	66,176	158,622	82,250	28,226	3,833	498,269	(18,095)	480,174
営業費用	150,934	58,026	150,132	78,121	26,401	3,179	466,793	(18,099)	448,694
営業利益	8,228	8,150	8,490	4,129	1,825	654	31,476	4	31,480

当第3四半期（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

（単位：百万円）

	化成品・樹脂	機能品・フイン	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	計	消去又は全社	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	170,493	69,053	155,191	85,407	31,270	2,969	514,383	—	514,383
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,631	1,382	3,060	696	9,829	960	22,558	(22,558)	—
計	177,124	70,435	158,251	86,103	41,099	3,929	536,941	(22,558)	514,383
営業費用	165,279	60,912	149,928	81,366	37,546	3,254	498,285	(22,523)	475,762
営業利益	11,845	9,523	8,323	4,737	3,553	675	38,656	(35)	38,621